

⑫ 公開実用新案公報 (U) 平2-53190

⑬ Int. Cl. ⁵

C 02 F 1/28
1/44

識別記号

R
B

庁内整理番号

8618-4D
8014-4D

⑭ 公開 平成2年(1990)4月17日

審査請求—未請求—請求項の数—4—(全9頁)

⑮ 考案の名称 浄水装置

⑯ 実 願 昭63-132156

⑰ 出 願 昭63(1988)10月7日

⑱ 考 案 者 小 林 進 神奈川県横浜市栄区飯島町527-3-2-106

⑲ 出 願 人 小 林 進 神奈川県横浜市栄区飯島町527-3-2-106

⑳ 代 理 人 弁理士 竹内 三郎 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 屋内の水道本管から分岐した分岐管に開閉用元栓を装着し、その先の分岐管を開閉弁を介装させた上で、浄水器に導入し、浄水器は活性炭、セラミック、その他の粒状濾過材等からなる第一次濾過層と、微細孔膜等からなる第二次濾過層を少なくとも具備し、浄水器の出水口側は給水管に通管させ、上記各装置部はシンクのキャビネット内若しくは天板の下方に配置し、上記開閉弁に連通した開閉弁操作部と上記給水管とのみをシンクのキャビネット側若しくは天板の上側に各別に露出せしめてなる構成を有する浄水装置。
- (2) 前記開閉弁は、設定時間だけ通水させるタイマーを具備した電磁弁である第1項記載の浄水装置。
- (3) 前記浄水器は、少なくとも濾過層部分が入出

水口部分から離脱可能に装着されているものである第1項または第2項記載の浄水装置。

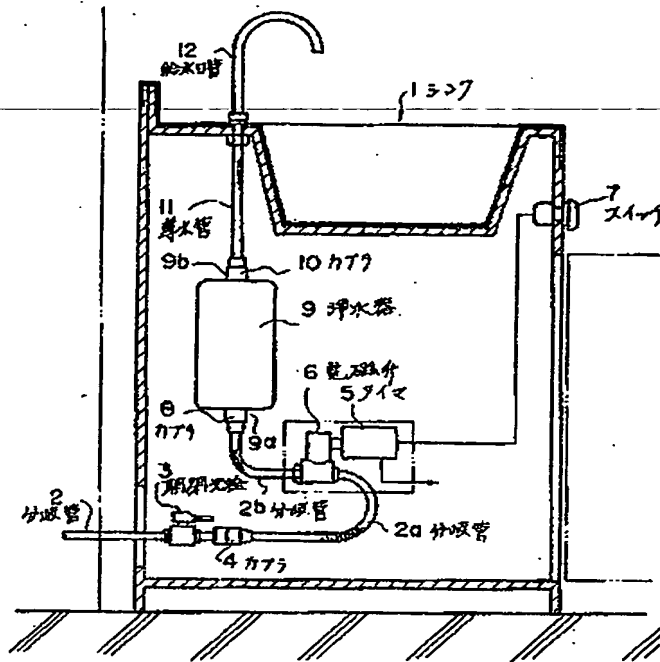
- (4) 前記浄水器は、入出水口がいずれも着脱自在のカブラによつて分岐管に接続され、浄水器全体が分岐管から離脱可能に装着されているものである第1項又は第2項記載の浄水装置。

図面の簡単な説明

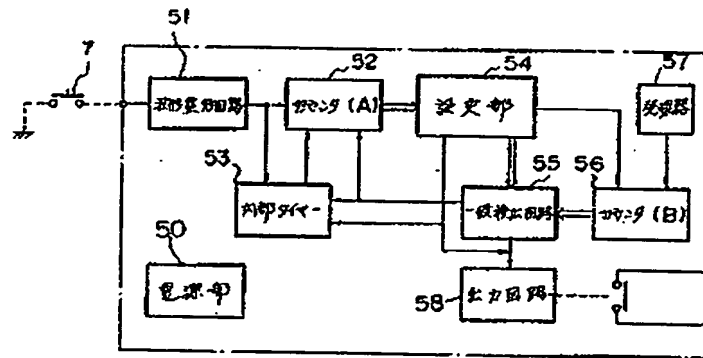
第1図は本考案に係る浄水装置の一実施例を示す一部断面図、第2図は電磁弁用タイマーの一例を示すブロック図、第3図は浄水器の構造の一例を示す部分縦断面図、第4図はカブラの構造の一例を示す部分断面図、第5図は浄水装置の他の実施例を示す一部断面図である。

1……シンク、2, 2 a, 2 b……分岐管、3……元栓、4, 8, 10……カブラ、5……タイマー、6……電磁弁、7……スイッチ、9……浄水器、11……導水管、12……給水管。

第 1 図



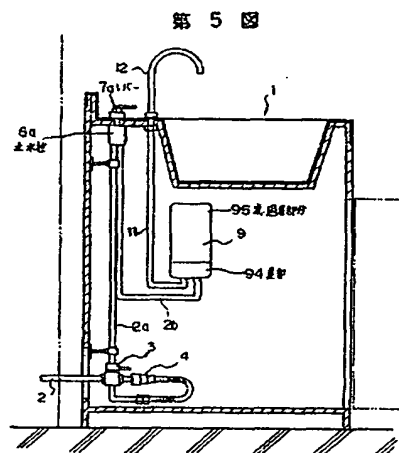
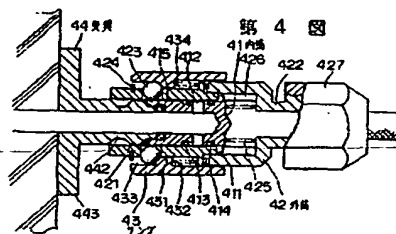
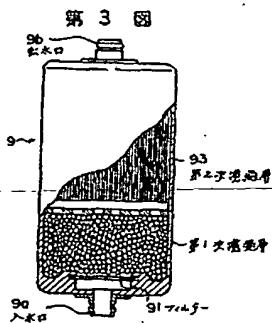
第 2 図



DOCUMENT 3/3
DOCUMENT NUMBER
@: unavailable

1. JP,59-039352,U(1984)
2. JP,63-132156,U(1988)
3. JP,02-053190,U(1990)

実開 平2-53190(3)



-229-

BACK NEXT

MENU SEARCH

NUMBER LIST

HELP

JP,02-053190,U

STANDARD C ZOOM-UP ROTATION No Rotation

RELOAD

PREVIOUS PAGE

NEXT PAGE